

大源太山登山

2013.10.14～15 3名で

昨年11月上旬に予定したのですが、降雪があり延期になっていました。みなかみ町の山田さん、新潟市の小野さんと天候の良さそうな2日間で登りました。山頂のピストンで無く、ぐるっと一回りのコースをユックリ1泊で計画しました。山田さんとはお互いに百名山挑戦中の1998年に九州祖母山の登山口の民宿で一緒し、以降お付き合いをさせてもらってきました。毎年1回は登山をしましよとの約束で何年か続きましたが、以降中断していて、昨年11月の連休に私が出向いて再現しました。降雪で標高の高い山は無理だったので、戸神山と子持山に登りました。今年の約束の大源太山登山が実現しました。今年は奥さんは体調が悪くて不参加です。変わった山に興味の強い小野さんが同行しました。この山は谷川岳縦走登山の際に気になった山です。「上越の(又は東洋の)マッターホルン」の異名をもつ鋭峰です。例年なら紅葉期ですが、今年は遅れていて少し早かったのが残念でしたが、変化に富んだ登山コースで大源太山の「山容」も含めて素晴らしい山行になりました。台風の接近で風が強かったのが残念でしたが。

10/13 (日) 18:30 に出て長野～飯山～353号線で湯沢町に22:00到着し、車中泊。

10/14 (祭) 晴れ 8:30に登山口駐車場に集合の約束。私は7:30前に到着。(走行183KM。8:40～9:15 渡渉点 9:20～11:50 大源太山(1598M) 12:00～途中で昼食～14:00 セツ小屋山(1675M) 14:10～15:00 蓬ヒュッテ(泊)

10/15 (火) 曇り 6:55～7:45 シシゴヤノ頭(1473M) 7:55～10:00 分岐点～10:15 登山口 10:40～11:00 岩の湯(入浴) 12:40 解散。 17:00に帰宅。

12/14 早く目が覚めたし、朝食し大源太キャニオンに寄って駐車場へ。

登山口



案の定登山口の駐車場が満車で500M位手前の路肩に駐車。私の連れの2台が後から来るので、到着する車に上手に停めるように依頼し、段差などに流木を埋めたりするのを手伝う。2回の渡渉をして、急な登り坂が続く。台風の接近のせいか風が強くなる。気温は高めなので体感温度はそれほど寒くはないが。

登りで見上げる大源太山は貧弱な山容



大源太山山頂



早朝に出た日帰りピストン組が何組も下山してくる。風が強くて山頂に長く居られないせいかも。期待した紅葉は遅れていて残念。日帰り組が下山し終わった山頂に到着。巻機山・朝日岳・笠ヶ岳・白毛門・谷川岳・万太郎山・苗場山など360度の大展望。谷川岳はガスが少しかかったりしている。天候の難しい山らしい。風が強いのでセツ小屋山に向かう。すぐ鎖・ハシゴの難所がある。日帰り周回コース（先にシシゴヤノ頭経由の）の2組とすれ違う。お元気な中高年達だ。風の弱い場所で昼食にする。適当な場所が無く、登山道上だが時間的にもう登山者は来ない筈だし。

セツ小屋山へ



セツ小屋山山頂の展望も良い。山名標が古くて可愛そうだし、記念写真には山名が読み取れないだろう。こんな山を幾つも経験するが、何とかならないのか？山の世界では個人・団体が記念に「山名標」などを置いてくる事を禁じているが。ならば禁じている者が設置すべきと思うのだが。個人などが記念に置いていったユニークな山名標は記念写真にはとても有難いのだ。観光協会・自治体・環境省などが設置したらどうか。金額的には微々たるものだ。大源太山は山頂を超えてからの「容姿」が素晴らしい。

大源太山 1



正に東洋のmatterhornだ。刻々とその姿を変えて行く。残念なのは振り返らないと見えない事だ。

七ツ小屋山から大源太山



左 大源太山 右 七ツ小屋山



その意味では我々と逆コースの周回コースが理想的だと思った。見渡す縦走路は昔歩いたのでとても懐かしい。元橋から平標山～仙ノ倉山～万太郎山～大障子避難小屋に泊まり谷川岳を超えて清水峠避難小屋に泊まり、朝日岳～白毛門～土合駅と歩いた。熊笹の中に登山道が続いていてとても風情のある縦走路だ。笹が刈り取られた幅の広い快適な道を蓬ヒュッテ目指して歩く。風は相変わらず強い。

大源太山と奥巻機山



谷川岳方面と蓬ヒュッテ



写真に雨具を着て写っているのは雨・寒さでは無く、風よけで着用したせいです。明日歩く「謙信ゆかりの道」との分岐を過ぎると10分で蓬ヒュッテに到着。

蓬ヒュッテにて



25名収容の予約制の小さな古い小屋だ。到着するなり「もっと早く予約をくれ！」と何度も言われる。少しムットしたが、根は気の良いオヤジさんだ。今日の泊り客は4グループ10名。早速飲みながら談話。山田さんは缶ビール、柿など重い物を背負ってきたのだ。

年齢もとても10歳年上とは思えない足・腰の強さ。頭髮も黒いのだ。秘訣の一つは週に3~4回は近くの戸神山に登っているせいだと思う。私も去年同行させてもらったが、標高は771Mでもなかなか急な登山道であった。

ご夫婦で百名山を完登達成された。(記念の雨飾山に同行させてもらった)夕食は想定外の美味しいカレーと生野菜の多さ。寝袋の寝具と毛布で寝る。隣のご夫婦は明日は朝日岳~土合との事。他のグループも同じで朝早く出発して行った。奥さんは佐久の出身で個性的な美人でした。

10/15 朝食を食べてユックリ出発。今日は歩行時間が3:10と行程的にも楽。台風で風は強いが、午前中は雨の心配はないだろう。横目で大源太山の勇姿を眺めながら、

大源太山 2



大源太山とセツ小屋山

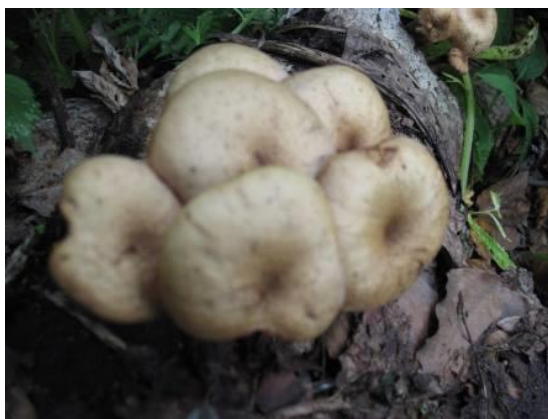


大源太山 3



きのこを採りながらの下山。

ならたけ



歩き易い膝にも優しい下山道だ。ならたけ中心にチャナメツムタケ・ムキタケ。途中ですれ違った地元のおじいさんはナメコ採りとの事。

ブナの木が多かった。ガラ空きになった駐車場を過ぎて車に向かう。

謙信ゆかりの道分岐



ネットで見た「岩の湯」に向かう。小野さんのナビは検索できず。私のナビはOK。少し優越感を感じた。

岩の湯



入浴後、野の花さんから頂いたDVDを鑑賞してから解散する。行程的にもユックリした、ノンビリ山行であった。(風が強くて休憩が短かったが) 山田さんお世話さんになりました。頂いた川場村の永井酒造の尾瀬の酒「水芭蕉」早速今晚から飲みます。有難う御座いました。(帰路途中から雨になりました。)